



第 6 号

令和 2 年 7 月 吉日

会員各位

一般社団法人 香川県日中友好協会 事務局

空の道、第 6 号をお届けします。

6 月 28 日(土)ルポール讃岐(高松市中野町 23-23)において、2020 年度の総会を開きました。役員を含め、20 名の方の参加でした。

総会では、山本悟史会長のあいさつに続き、三宅正博事務局長より当協会が一般社団法人になってから 6 年が経過しましたが、その間にスポーツイベントとして、春秋の栗林公園での太極拳、文化事業として『望郷の鐘』映画上映、漢字講座などの実施および、香川県からの委託事業である「中国帰国者日本語教室」など、安定した事業展開が出来ていることの報告がありました。さらに、残念ながら会員拡大までに至っておらず、益々の努力が必要と話しました。

議事にあたっては、会則により、会長が議長となり事業報告、決算報告、事業計画案などが審議され、原案通りに承認されました。また、会員より「協会の目的に沿った事業が不十分ではないのか」「会員拡大の具体的な数字を挙げて積極的に会員拡大を図っては」などの積極的な意見が提案されました。これに対し、事務局が会員の意見を十分に吸い上げられていないことの反省や、協会が全国組織の構成員であることの利点を生かし、益々努力したい旨の回答がありました。また、会長より改善すべきところは改善し、具体的な事業展開をしたいとの発言で総会は無事終了となりました。



総会の状況

総会終了後の理事会で、事務局長の変更があり、三宅正博理事から内海美貴子理事にバトンタッチされました。

理事会の様子

